

2022年度 GSK ジャパン研究助成

<目次>

◎ 募集要項

1. 研究助成の趣旨
2. 応募者の資格および条件
3. 募集する分野・対象疾患 / 研究領域
4. 助成対象外の研究
5. 応募方法
6. 募集期間
7. 審査
8. 助成金額および助成件数
9. 助成する研究の期間
10. 採択結果の通知と公開
11. 助成金給付契約の締結
12. 助成金の交付方法と期日および使用期間
13. 助成金の使途
14. 研究報告および会計報告
15. その他
16. 作成・改訂履歴

◎ 研究助成申請時の留意事項

1. 応募方法
2. 研究計画作成時の留意事項
3. 問い合わせ先

2022 年度 GSK ジャパン研究助成 募集要項

1. 研究助成の趣旨

「GSK ジャパン研究助成」は、医学・生命科学および関連する科学の領域における若手研究者の研究を支援します。

2. 応募者の資格および条件

- 2.1 応募する研究の代表者であること。
- 2.2 2022 年 4 月 1 日時点で、44 歳以下(生年月日が 1977 年 4 月 2 日以降)であること。
- 2.3 2022 年 4 月 1 日時点で、医学・生命科学および関連する科学領域における博士の学位を取得していること。
- 2.4 所属する研究機関^{※1}の所属長(部局長)の了解を得ていること(例: 大学の場合は教授もしくはそれ以上の役職者(医学部長、学長等)、病院の場合は病院長等)。
- 2.5 研究機関に、当該研究機関の研究活動を行うことを職務に含む者として、所属する者であること(有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別を問わない)。
- 2.6 当該研究機関の研究活動に実際に従事していること(研究の補助のみに従事している場合は除く)。
- 2.7 大学院生等の学生でないこと。
- 2.8 寄付講座に所属する者でないこと。
- 2.9 2014～2021 年に「GSK ジャパン研究助成」の助成を受けていない研究者であること。
ただし、以下の条件を全て満たした場合のみ、2 回目の申請を可能とする^{※2}。
 - 2.9.1 2.1 から 2.8 の全ての条件を満たしていること。
 - 2.9.2 2014～2019 年の間に助成を受けた研究者であること。
 - 2.9.3 助成された研究について、論文投稿により成果報告をしていること。該当論文に「GSK ジャパン研究助成 20xx(英文名: GSK Japan Research Grant 20xx)」等の記載があり、研究代表者が本助成を受けたことが明らかにされていること。^{※3}
 - 2.9.4 会計報告書および研究報告書の提出等、本研究助成の要件を遵守していたこと。

※1: 科学研究費補助金取扱規程(文部省告示、文部科学省改正)第 2 条に規定される研究機関

※2: 過去に助成された研究代表者への採択数には上限を設定します。

※3: GSK ジャパン研究助成の Website に掲載の論文リストを参照ください。

3 募集する分野・対象疾患 / 研究領域

以下の分野に対応する対象疾患/研究領域に関する研究が募集対象となります。

分野	対象疾患 / 研究領域
A. 呼吸器疾患 ^{※1}	気道閉塞性疾患(慢性閉塞性肺疾患など) アレルギー性肺疾患(気管支喘息など) 間質性肺疾患(薬剤性間質性肺炎は除く) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 ^{※2}
B. 泌尿器疾患 ^{※1}	前立腺肥大症 過活動膀胱 神経因性膀胱 膀胱炎 腎盂腎炎 前立腺炎 精巣上体炎(副睾丸炎) 尿道炎
C. 膠原病	全身性エリテマトーデス 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
D. ウイルス性疾患	ヒトロタウイルス感染症 水痘・帯状疱疹ウイルス感染症 ヒトパピローマウイルス感染症 狂犬病ウイルス感染症 コロナウイルス感染症
E. がん領域	腫瘍免疫 ^{※3} 遺伝子改変免疫細胞療法

※1:「がん」にかかわる研究は対象といたしません。分野「E. がん領域」をご参照下さい。

※2:分野「C. 膠原病」において審査されます。

※3:腫瘍免疫に関連する実験手技を主体とする研究を対象とします。

4 助成対象外の研究

	助成対象外	助成対象になる研究 / 必要な作業
4.1	日本国内で行われない研究	
4.2	同一の研究について他の助成金を受けている研究 ^{※1}	
4.3	複数の研究機関 ^{※2} による、あるいは企業等 ^{※3} との共同研究	
4.4	既の実施済みの研究、もしくは現在進行中の研究 ^{※4}	
4.5	過去に採択された同教室からの類似した研究 ^{※5}	
4.6	開発中の薬剤・機器もしくは販売している製品や有効成分を使用する研究 ^{※6, 7, 8}	確立された方法で疾患モデルを作成するために使用する場合は認められることがあります。
4.7	疫学調査・疫学研究	
4.8	臨床試験・臨床研究	<p>下記を全て満たした研究に限って助成対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 既存試料・情報^{※9}を用いた研究^{※10,11}。 または、新たな試料を採集する場合であっても、「侵襲を伴わない」または「軽微な侵襲を伴う」一部の研究に限り可能とする。^{※11,12} ✓ 被験者の集団を2群以上のグループに分け、グループ間で有効性、安全性等を比較する研究ではない。 ✓ 所属する研究機関の倫理委員会で承認された研究計画書および承認資料をご提出ください^{※13}。
4.9	ヒト胚または胎児あるいは胎盤・臍帯・臍帯血等、周辺の組織や細胞およびそれらから生成される細胞株を使用する研究	WI-38, MRC-5, HEK-293, IMR-90, SVGp12, SVG-A, Per.C6 については助成対象とします。

- ※1: 弊社以外の研究助成への応募を妨げるものではありませんが、弊社以外のお誘いをされる際は、その旨記載ください。なお、他の助成を受ける場合は弊社の助成対象者から除外されますので、他の助成を受けることが決定した場合は、速やかに当事務局にご連絡ください。
- ※2: 複数の研究機関に助成金を分配して使用する場合を指します。
- ※3: 共同研究について、企業等により資金等の提供を受けている、あるいは受ける予定がある場合を指します。
- ※4: 過去の研究との関連性および差異、申請する研究スケジュールを明確にして申請書を作成してください。
- ※5: 審査委員会にて審議し、決定されます。
- ※6: 第三者あるいは弊社に商業的な利益・不利益が生じる可能性があるもの(医薬品、医療機器、その他)を指します。広く一般に研究を目的に販売されている試薬等を用いた研究は対象外とはなりません。
- ※7: 試薬・機器等が研究代表者あるいは所属機関の独自開発であることが明記されており、本研究助成の運用に第三者からの影響を受けないことが確認できる場合は、本助成の対象となります。独自開発の場合はその旨を記載してください。
- ※8: 製品または開発品を使用される場合でも、※6,7 を鑑み、研究対象となる場合があります。研究計画に**製品名あるいは一般名、製造販売企業名を具体的に記載**してください。
- ※9: 「既存試料・情報」とは、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」(https://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n2265_01.pdf)において定義された「既存試料・情報」をいいます。
- ※10: 倫理委員会で承認された研究計画書あるいは承認資料によって、既存試料の利用である旨が確認できる必要があります。
- ※11: 健常者から採取された試料を使用する場合は、既存試料を利用する場合に限って研究対象とします。
- ※12: 「侵襲を伴わない」または以下の「軽微な侵襲を伴う」研究に限り、研究対象とします。
- 労働安全衛生法に基づく一般健康診断で行われる採血や胸部単純X線撮影等と同程度。
 - 研究目的でない診療において穿刺、切開、採血等が行われる際に、上乗せして研究目的で行う穿刺、切開、採血。
ただし、研究目的でない穿刺、切開、採血等と比較して研究対象者の身体および精神に追加的に生じる傷害や負担が相対的にわずかである場合に限る。
 - 造影剤を用いない MRI 撮像等と同程度。
- ※13: 倫理委員会の承認を確認できる書類が申請締め切り(2022年4月22日 15時)までに提出されない場合は申請を受け付けることはできません。

5 応募方法

5.1 募集要項に従って、2022 年度 GSK ジャパン研究助成 Website にある GSK Japan Research Grant Navi からご応募ください。

<https://jp.gsk.com/ja-jp/research/glaxosmithkline-research-grant/>

5.2 ご応募できる件数は 1 研究代表者 1 件のみとなります。

5.3 同じ研究機関、教室からの応募件数に制限はありませんが、過去の助成研究あるいは同年に同じ研究機関、教室からの類似研究があった場合は、審査委員会の審議対象とします。

5.4 上記リンク内にある「研究計画」、「予算計画」、「所属長確認書」の各書式をダウンロードし、作成してください。また、＜申請の流れ＞および P.11 の「研究助成申請時の留意事項」も必ずご参照ください。

< 申請の流れ >

募集要項、留意事項等の確認

2022 年度 GSK ジャパン研究助成 Website より下記について、確認してください。

- 2022 年度 GSK ジャパン研究助成 募集要項 / 研究計画作成時の留意事項
- 助成対象外になる研究計画の事例



アカウント登録およびパスワードの設定

GSK Japan Research Grant Navi より必要事項を入力してください。登録されたメールアドレスにアカウント登録完了のメッセージが届きます。続いて、パスワードを設定してください。

※登録するメールアドレスは、必ず所属機関で発行されたものを登録してください。

※アカウント登録された所属情報と「所属長確認書」の記載内容が同一である必要があります。



提出資料のテンプレートのダウンロード

提出資料のテンプレートを 2022 年度 GSK ジャパン研究助成 Website よりダウンロードしてください。



提出資料の準備

「研究計画」、「予算計画」を作成してください。

「所属長確認書」は所属長の確認と捺印を必要とします。

(必要な場合)所属する研究機関の倫理委員会で承認された「研究計画書」および「承認資料」をご用意ください。申請締め切り(2022 年 4 月 22 日 15 時)までに提出されない場合は申請を受け付けることはできません。

(2 回目の申請をされる場合)該当の論文のご用意をお願いいたします。



内容入力

GSK Japan Research Grant Navi より申請に必要な各項目を入力してください。

提出資料は全て PDF ファイルで提出してください。



登録完了

申請受付メールの送信をもって登録完了のご連絡となります。

6 募集期間

2022年3月1日(火)～2022年4月22日(金)15:00まで

申請締切日はアクセスが集中します。締め切りまでに適切に応募手続きが完了しない場合は応募を受け付けることはできかねますので、余裕を持って応募手続きを行ってください。

7 審査

- 7.1 GSK Japan Research Grant Navi から登録された情報および提出された書類が本要項を満たさない場合には審査の対象となりません。
- 7.2 提出いただいた資料をもとに、分野ごとに社外医学専門家で構成される審査委員会にて審査されます。
- 7.3 審査は、「研究の独創性および革新性」、「研究計画・方法の妥当性」、「研究の学術的重要性・妥当性」、「研究の波及効果および普遍性」、「研究の遂行能力・実効性」ならびに「研究経費の妥当性」の観点で行われます。
- 7.4 グラクソ・スミスクライン株式会社の営業部門から独立した部門の社員が書類審査における評点集計および審査委員会の運営をいたしますが、審査には一切関わりません。

<審査の流れ>

公募	【3-4月】
----	--------

GSK Japan Research Grant Navi より、研究代表者が申請(研究代表者の情報入力および提出書類を登録)してください。



事前審査	【5-6月】
------	--------

1名の外部有識者が応募された全研究計画について、募集要項の規定と合致しているかを一貫して確認します。提出された研究計画が規定を満たさない場合には書類審査の対象となりません。



書類審査	【6-7月】
------	--------

各分野の複数の社外医学専門家(審査委員)により、研究計画ごとの個別要素別評点および総合評点を付するための書類審査が行われます。公平性を担保するために個人を特定できるような記載がある場合はマスキングをした上で審査が行われます。



審査委員会	【8月】
-------	------

書類審査での評点をもとに審査委員による審議を行います。

8 助成金額および助成件数

- 8.1 助成金額は、1 研究に対して 200 万円以内とし、助成件数は予算に応じて決定します。
- 8.2 過去に助成された研究代表者への採択数は、各分野カテゴリーの採択数の最大 20%とします。

9 助成する研究の期間

開始:「11 研究助成契約の締結」に記載する契約の締結日からとします。

終了:2024 年 2 月 29 日までとします。

10 採択結果の通知と公開

2022 年 10 月下旬までに、研究代表者宛てに審査委員会の評価結果および採択結果の通知をいたします。採択者は助成金の使途および確認事項に関して同意いただいた上で、期限内に手続きいただきますようお願いいたします。なお、個別の審査内容の詳細についてのお問い合わせに応じることはできません。

弊社ホームページ上で採択者の氏名、所属機関名、研究課題名を公開いたします。

11 助成金給付契約の締結

審査結果の通知後、グラクソ・スミスクライン株式会社と応募者の間で契約を締結していただきます。この契約は募集要項の条件と留意事項を遵守いただくために締結するものであり、締結が助成金交付の必須条件となります。

12 助成金の交付方法と期日

交付方法:所属機関が指定する口座に助成金を振り込みます。

交付期日:2022 年 11 月～12 月を予定しております。ただし、各研究機関の手続きの状況により前後する可能性があることをご了承くださいますようお願いいたします。

使用期間:「11 研究助成契約の締結」に記載する契約の締結日から、助成する研究期間の終了日(2024 年 2 月 29 日)までとします。

13 助成金の使途

応募者はあらかじめ下記の点について、所属する研究機関からの合意を得てください。

- 13.1 申請内容通りの使用を原則とし、研究期間内に使い切るものとします。
- 13.2 助成金は応募者が所属する研究機関のみに振り込まれ、その研究機関のみで使用することとします。
- 13.3 助成金を使用できるのは研究代表者本人のみであり、他の研究者が助成金を使用することはできません。また、助成された研究を他の研究者に引き継ぐこともできません。研究代表者が所属の研究施設から他の施設に異動する際は、弊社研究助成事務局までご連絡ください。
- 13.4 助成金を使わなかった場合、または助成金が余った場合は、原則、返却していただきます。
- 13.5 助成金の使途を変更する場合、または助成金対象の研究内容に重要な変更が生ずる場合は、速やかに使途変更届を当事務局に提出してください。提出いただいた内容について審査し、結果をご連絡いたします。

- 13.6 原則として設備備品の取得価格が 50 万円以上かつ耐用年数が 1 年以上の物品の購入には本助成金を使用できません。
- 13.7 研究経費全体の中で「旅費」の占める割合が 15%以内、「その他」の占める割合が 10%以内になるようにしてください。なお、「その他」については具体的な用途をすべてご記載ください。
- 13.8 本助成事業で採択された研究に直接関連性のない経費に助成金を使用することはできません。用途と認められない経費事例を以下に記載します。判断に迷う場合は研究助成事務局に事前にご確認ください。

<用途と認められない経費事例>

- ・建物等の施設・設備の整備費用
- ・講座、教室等の運営に関連した費用
- ・助成されていない研究を含む施設利用料・消耗品等
- ・高額機器等の価格の一部を賄う費用
- ・機器の修理費用
- ・通常備えるべき什器(机・椅子等)
- ・複数台の PC、スマートフォンおよび電子機器類
- ・電子機器にかかる回線費用
- ・雑誌、書籍などの年間購読料等
- ・学会年会費
- ・助成された研究を助成者が発表しない学会の参加費、旅費^{※1,2}
- ・助成された研究者本人以外の国内学会または海外学会の参加費、旅費
- ・講演料等の謝礼
- ・人件費
- ・会合などの飲食費
- ・「GSK ジャパン研究助成 2022(英文名:GSK Japan Research Grant 2022)」との記載のない論文投稿、スライド等製作関連費用^{※1}

※1: :助成者本人が助成対象である研究を発表された旨が記載されている抄録、またはプログラムをご提出いただきます。

※2: :共同演者ではなく、助成者本人が演者である必要があります。

- 13.9 間接経費免除(オーバーヘッド)の取り扱いは、採択通知を受領された際にお申し出ください。ただし、「14. 研究報告および会計報告」に規定の通り、各研究機関で通常行われているレベルの会計報告を要しますので、免除に該当するかについては研究機関の担当部署にご確認ください。

14 研究報告および会計報告

研究報告:

- ・2023年10月末までに**研究経過報告書**を当事務局宛てに提出することを必須とします。
- ・2024年10月末までに上記、研究経過報告書とは別に**研究報告書**の提出も必須とします。特に優れた研究成果につきましては別途、学会での研究発表などを依頼する場合がありますのでご了承をお願いいたします。
- ・助成された研究を含む成果を外部に発表される場合は「**GSK ジャパン研究助成 2022(英文名: GSK Japan Research Grant 2022)**」による 研究助成である”こと、および助成された研究者名を明記してください。発表された論文の別刷または学会発表のアブストラクトを当事務局宛てご提出ください。
例) 赤坂 太郎の場合、「**GSK Japan Research Grant 2022 (Taro Akasaka または TA)**」

会計報告:

- ・2024年3月8日(金)までに本助成金の**会計報告書(証憑の写しを添付)**を当事務局宛てに提出することを必須とします。会計報告書の書式は任意ですが、購入日、購入物品名、型番、数量、購入単価、伝票番号、購入先等の詳細をご記載いただくをお願いいたします。また、要請があった場合は再提出をお願いいたします。
会計報告は、GSK の社内会計監査の対象となります。報告の際に証憑の原本は添付不要ですが、監査等で確認をすることがありますので、税法上必要とされている期間は保管くださいますようお願いいたします。
なお、残金が生じた場合は、2024年6月末までに返金いただきます。

15 その他

- 15.1 募集要項（研究計画作成時の留意事項を含みます）または助成金給付契約に違反し、もしくは助成対象者として相応しくない行為があったときは、助成をやめたり、研究助成金の返還を求めたりすることがあります。
- 15.2 個人情報 は本研究助成に関連する業務にのみ利用し、必要な範囲に限定して適切に取り扱います。
- 15.3 本研究助成に関しては、「グラクソ・スミスクライン株式会社 医療機関および医療関係者との関係の透明性に関する指針」に則り、弊社ホームページ上で研究助成先(施設名および教室・講座名)・氏名・研究助成金額等の情報開示をさせていただきます。
- 15.4 2022年度 GSK ジャパン研究助成の審査委員については、研究助成期間終了後、2024年4月以降の公開を予定しております。

16 作成・改訂履歴

新規作成: 2021年9月30日作成

以上

NP-JP-NA-BKLT-210008

研究助成申請時の留意事項

応募に際しては、「募集要項」を熟読の上、以下の事項に従ってください。

1. 応募方法

2022 年度 GSK ジャパン研究助成 Website をご確認ください、GSK Japan Research Grant Navi から申請手続きを行ってください。

なお、申請には下記書類の提出が必要です。あらかじめ 2022 年度 GSK ジャパン研究助成 Website からテンプレートをダウンロードしていただき、書類を作成していただく必要がございます。

提出資料(PDF)

- 「所属長確認書」
- 「研究計画」
- 「予算計画」
- 所属する研究機関の倫理委員会で承認された「研究計画書」および「承認資料」
(必要な場合のみ: 募集要項 4. 助成対象外の研究参照)
- 該当論文
(2 回目の申請を行う研究代表者のみ: 募集要項 2. 応募者の資格および条件参照)

2022 年度 GSK ジャパン研究助成 Website

<https://jp.gsk.com/jp/research/glaxosmithkline-research-grant/>

[申請締め切り: 2022 年 4 月 22 日 (金) 15:00]

2. 研究計画作成時の留意事項

- 研究計画は、【概要】および【略語】(A4 サイズ 1 ページ以内)、【詳細】(A4 サイズ 4 ページ以内)、【使用する試料・試薬・情報等】(A4 サイズ 1 ページ以内)で構成してください。
上記ページ数を超える場合は審査の対象となりませんので、ご注意ください。
- 研究計画に略語を使用して記載する場合は、略語の意味を記載してください(【略語】の項)。
例) DGL: dendrigraft poly-L-lysine
- 研究計画の【詳細】には、研究の意義^{※1}、目的、方法、ならびにスケジュール^{※2}を記載し、フローチャートや図表を用いるなどわかりやすい記述となるようご注意ください。
^{※1}: 過去の関連した研究とのつながりや既に助成されている研究との違いが分かるように記載してください。
^{※2}: これまでの研究と申請した研究が区別できるように記載してください。助成期間に該当しないものが含まれ、明確でない場合は、募集要項「4. 助成対象外の研究 4.4 既に実施済みの研究、もしくは現在進行中の研究」に該当するとみなします。
- 研究計画の【詳細】に記載する試料・試薬(製品または開発品、使用する細胞株など)や使用する情報(画像や遺伝情報など)などについては、【使用する試料・試薬・情報等】に詳細を具体的に記載してください。具体的な記載がない場合、審査に回付されないことがございます。

- 使用する試薬等の一般名または製品名、購入先、第三者の権利の発生状況および資金提供の有無、影響などについて記載して下さい。（【使用する試料・試薬・情報等】の項）
- フォントは日本語を「MS P ゴシック」、英数字を「Arial」とし、サイズは「10.5 ポイント」で作成して下さい。
- 余白および行間隔の設定は変更しないでください。
- 研究代表者(申請者)を特定できるような記載(氏名、所属、論文の著者名等)はしないでください。情報を記載する際は、「申請者は」「著者は」などのように記載して下さい。
- 応募受付サイトにアップロードしていただく PDF は 2M バイト以内で作成をお願いいたします。

3. 問い合わせ先

研究代表者はアカウントを登録後、GSK Japan Research Grant Navi の問い合わせフォームよりお問い合わせください。

研究代表者以外の方による本要項等に関するお問い合わせは、下記メールアドレスへ直接ご連絡ください。

よくあるご質問として FAQ を GSK Japan Research Grant Navi に掲載しておりますので、お問い合わせ前に一度ご参照ください。

グラクソ・スミスクライン株式会社
 GSK ジャパン研究助成事務局
 メールアドレス: jp.grant-ex@gsk.com

なお、弊社の営業部門に所属する社員は、利益相反の観点から本研究助成に関するお問い合わせを受けることはできませんのであらかじめご了承ください。

以上

◎外部委託

株式会社シーエーシーの Academic support navi を使用して一括管理いたします。

◎申請内容の秘密保持と転用の禁止

審査委員および研究助成に関する業務にあたる GSK 社員は、申請内容に関する秘密保持の義務を持ち、また転用を禁じます。

◎ 個人情報に関する取り扱い

ご入力・ご記入いただいた個人情報は、研究助成に関する業務に利用させていただきます。また、個人情報の保護に関する法律、関連諸法令、関連省庁等のガイドラインを遵守し、当社プライバシーポリシーに則って適切に取り扱います。

当社プライバシーポリシーは、次のホームページからご確認ください。

<https://jp.gsk.com/jp/privacy-policy/>